



# 2008 環境報告書



# 目次

---

|                 |   |
|-----------------|---|
| ごあいさつ           | 2 |
| 2008 年度トピックス！   | 2 |
| 環境保全            |   |
| ～ISO14001 の取組み～ | 3 |
| 環境方針            | 3 |
| ～環境パフォーマンス      |   |
| （環境維持活動の実施状況）～  | 4 |
| ～部門別の環境目標とその結果～ | 5 |
| ～環境関連法規制遵守～     | 7 |
| 保安防災            | 7 |
| 労働安全衛生          | 8 |
| 化学品安全           | 8 |

---

## 編集方針

当社は、2004 年 7 月に ISO14001 の認証を取得して以来、環境保全活動をマネジメントシステムにより継続的に実施し、環境報告書でその結果を報告しております。この活動を今後さらに発展させ、CSR（企業の社会的責任）の充実を目指し、報告書の充実を図っていきたいと考えております。

この報告書が当社の環境保全活動および CSR の充実に向けた活動のご理解の一助となれば幸いです。

対象期間：

2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日

対象範囲：

本社・工場および長谷事業所

次回発行予定：

2010 年 5 月

お問い合わせ先：

株式会社光学技研 品質管理部

TEL 046-250-5700

FAX 046-250-5711

ホームページ URL：<http://www.kogakugiken.co.jp/index.html>



光学技研は光学部品メーカーとして、国内外トップレベルの既存の技術と独自開発した技術をお客様に提供することにより、幅広い分野での最先端の研究活動や製品開発に貢献しています。

当社は、これまで以上にお客様に満足して頂ける総合的なバランスの良い会社を目指すとともに、倫理、人権、環境等の各面で社会的企業責任を果たしうる企業となるよう邁進しております。

また、世界的な環境問題である「地球温暖化防止」と「化学物質管理」に対して、当社でもできる限りのことを取り組み、この課題の解決に向けて貢献できるよう努力してまいります。

株式会社 光学技研  
代表取締役

岡田 幸勝

## 2008 年度トピックス！

- ◆2008 年 4 月 ・ UV グラントムソン偏光素子開発で第 20 回中小企業新技術・新製品優秀賞を受賞  
※写真左：UV グラントムソン偏光素子  
※写真右：贈賞式の様子
- ◆2008 年 6 月 ・ 「人事基本方針」、「倫理・コンプライアンス基本方針」、「労働安全衛生基本方針」を HP にて公開
- ◆2008 年 12 月 ・ 「神奈川県子ども・子育て支援推進事業者」県の認証を取得  
・ 社員の子育て支援のための具体的な行動計画を“子育て支援情報サービスかながわ”の Web サイトで公開
- ◆2009 年 1 月 ・ 長谷研究開発センター着工（インベストかながわ助成承認）



## 「環境保全」

当社は、2004年7月にISO14001を認証取得し、環境活動の推進をマネジメントシステム活動で実施しています。

### ～ ISO14001 の取組み ～

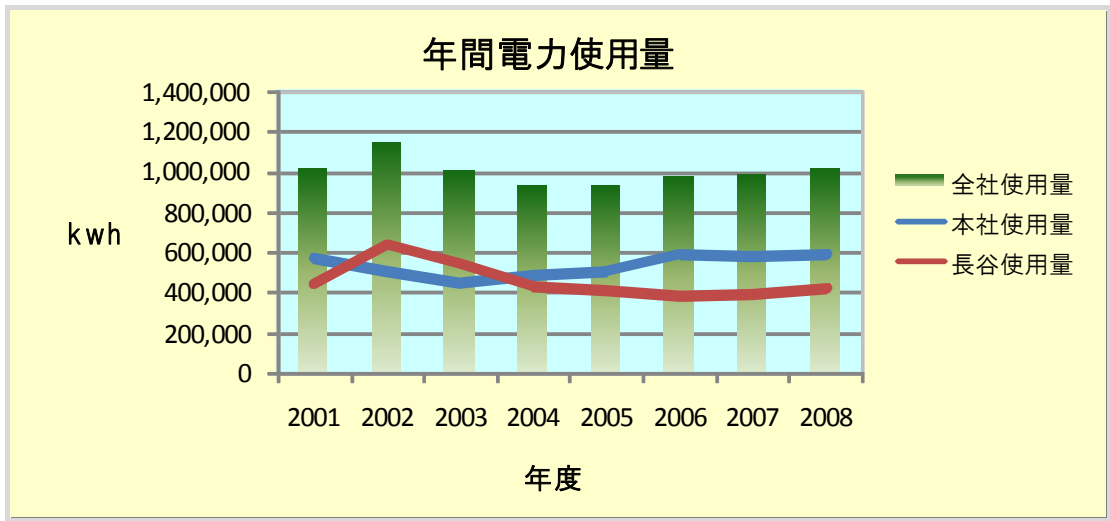
#### 環境方針

株式会社光学技研は、経営理念である「国内外のトップレベルの技術力」を発揮し、光学結晶素子・部品の設計、試作加工、開発、製造などの事業活動全般を通して、環境負荷の低減に努め、地域及び地球の環境保全に寄与します。

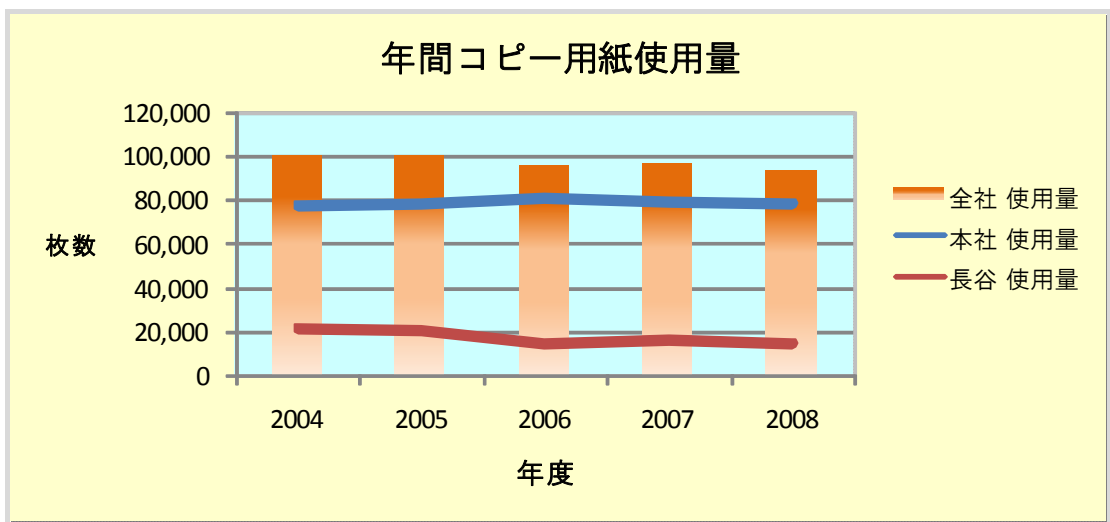
1. 事業活動が環境に与える要素を的確に把握し、環境の改善を推進するための環境マネジメントシステムの制定、見直しを行ない、継続的な改善及び汚染の防止に努めます。
2. 環境方針を遂行するため、環境目的及び目標を設定し、見直しを行なうことにより、環境活動を継続的に推進します。
3. 関連する環境の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
4. 次の事項を重点課題として取り組みます。
  - 1) 省資源化の推進
  - 2) 化学物質についての管理徹底と環境負荷低減の推進
  - 3) 廃棄物の排出抑制
  - 4) グリーン購入の推進
5. 環境教育を、当社のために働くすべての人に行ない、環境保全に対する理解と意識の向上を図ります。
6. この環境方針は、当社のために働くすべての人に配布して周知させます。

～ 環境パフォーマンス（環境維持活動の実施状況）～

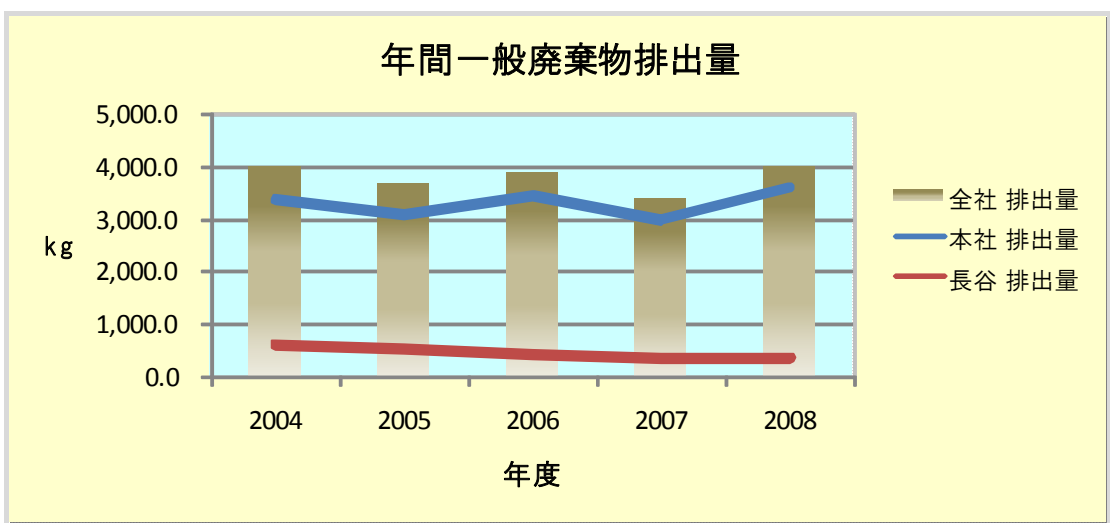
(1) 電力使用量の推移



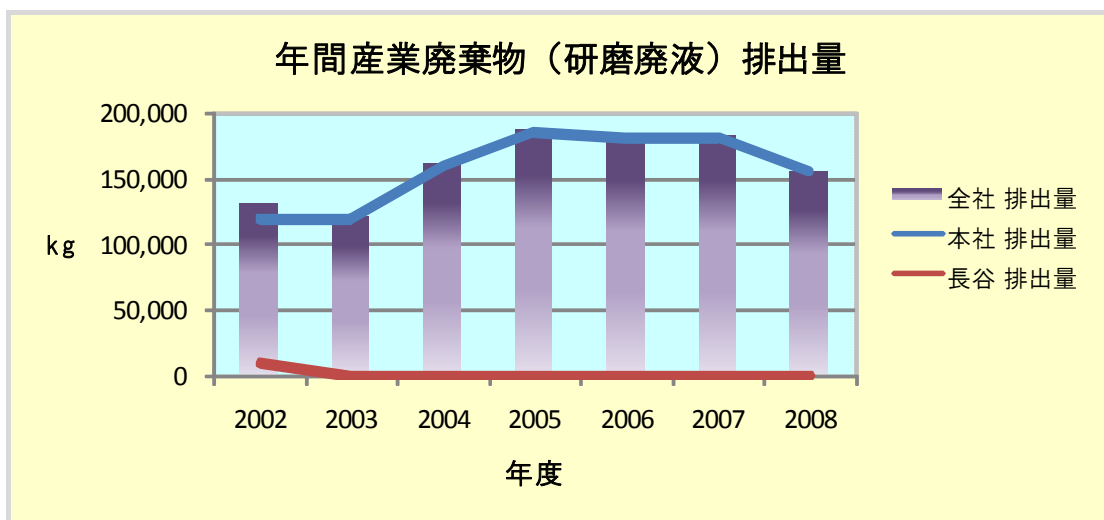
(2) コピー用紙使用量の推移



(3) 一般廃棄物の推移



(4) 産業廃棄物（研磨廃液）排出量の推移



～ 部門別の環境目標とその結果 ～

当社における環境負荷を6項目にまとめて目的とし、目標を定め活動を行っています。各項目の概要説明及び環境目標の活動結果を示します。

\* 結果評価 / ○：達成、△：概ね達成、×：未達成

(1) 省資源の推進

光学結晶等の加工には、各種有機溶剤等の資源を必要とします。法規制の遵守はもちろんのこと、その使用量を出来るだけ抑え環境に配慮した高品質が維持できるよう努めています。

| 年度目標                                | 関連部門      | 結果 |
|-------------------------------------|-----------|----|
| 設備見直しによる各種溶剤類の使用量及び排出量の削減と洗浄業務の高効率化 | 製造部(検査課)  | ○  |
| モニター板の再利用推進                         | ジオマテック(株) | ○  |

注) ジオマテック株式会社と業務提携し、長谷事業所において業務をおこなっています。EMS活動においては、当社EMSに参画して頂き、活動を共にしています。

(2) 廃棄物排出量の削減

研磨廃液は主に水溶性のものを使用しています。研磨廃液は、全てタンクに溜置きして、産廃処理をしています。

| 年度目標    | 関連部門        | 結果 |
|---------|-------------|----|
| 研磨廃液の削減 | 製造部(製造1課)2階 | ○  |

### (3) グリーン購入の推進

現在は、事業活動に使用している文房具類を中心にグリーン購入を進めています。今後は、その範囲を徐々に拡大していく方向で活動しています。

| 年度目標      | 関連部門 | 結果 |
|-----------|------|----|
| グリーン購入の推進 | 総務部  | ○  |
| グリーン購入の啓蒙 |      | ○  |

### (4) 生産の効率化

製造業における生産の効率化は、自社の技術改善や利益に直結すると共に、環境への配慮にも効果のある重要な活動であると考えています。

| 年度目標                | 関連部門        | 結果 |
|---------------------|-------------|----|
| 各加工機の最良ブレードの選定      | 製造部(製造1課)1階 | ○  |
| 研磨安定生産              | 製造部(製造1課)2階 | ○  |
| 在庫管理業務の見直し(素材の有効利用) | 製造部(製造管理課)  | ○  |
| 在庫管理業務の見直し(業務の効率化)  |             | ○  |

### (5) 環境活動の推進

企業における製品含有化学物質管理は、最も重要な必要条件となりつつあります。当社も環境汚染の予防という観点を含め活動しています。

| 年度目標  | 関連部門               | 結果 |
|---|--------------------|----|
| CSRへの対応(環境報告書の整備)   | 品質管理部              | ○  |
| 環境配慮製品の販売   | 営業部                | △  |
| 環境及びCSRの認識向上  | 総務部                | ○  |
| 設計開発、要素技術開発の段階において効率的に有毒物質の使用を削減するために自社製品についての含有有毒物質の標準化を行う | 技術部<br>(技術1課,技術2課) | ○  |

## (6) 作業環境の改善

作業環境の改善は、「品質・安全・健康」にもつながるテーマとなるため、活動を促進して行きたいと考えています。

| 年度目標       | 関連部門        | 結果 |
|------------|-------------|----|
| ミスト飛散防止の処置 | 製造部(製造1課)1階 | ○  |

## ～ 環境関連法規制遵守 ～

当社は、関連する法規制を遵守しています。また、関連法規制への違反、訴訟等はありません。

## 「保安防災」

### (1) 緊急災害への対応

自然災害（主に大規模地震を想定）が発生した場合の措置などを決定し、文書化を進めています。

### (2) 防災訓練

恒例としている防災訓練を10月に実施しました。（写真：本社実施の様子）





## 「労働安全衛生」

### (1) 労働災害件数の推移

当社は、「労働安全衛生方針」のもとに様々な取組みをおこなっています。

| 年度   | 休業災害件数 | 不休業災害件数 |
|------|--------|---------|
| 2004 | 0      | 0       |
| 2005 | 0      | 0       |
| 2006 | 0      | 1       |
| 2007 | 1      | 1       |
| 2008 | 0      | 0       |

注) 休業災害件数：ケガのため休業を余儀なくされる災害

不休業災害件数：ケガはしたものの休業には至らない災害

### (2) 安全衛生活動の推進

当社は、日々の安全衛生活動を推進するため、月次で会議を開催しています。

## 「化学品安全」

顧客要求事項を含む法規制等において、(製品含有) 化学物質管理に対する要求は、高まりを見せると共に一層厳しさを増しています。

その要求に対応出来るよう、現行の管理システムを継続的に改善しながら化学品管理を進めています。

安全に関しては、「環境保全」及び「労働安全衛生」活動に合わせ取り組んでいます。

